

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校  
TEL 048-831-5397  
FAX 048-835-1357  
**第 5 号**

**はつらつとした学校、地域に輝く学校**

令和元年 8月27日(火)

メールアドレス:ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ:http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## 『子どもたちが未来に必要な力を育てる！』

校長 小林 広利

本校では「希望あふれる大原中学校推進活動」を実施し、「夢と希望、自信と誇り」に満ちた子どもたちの成長を支援しています。推進活動では、「3つのG」:Grit(やり抜く力)、Growth(自分を伸ばす力)、Global(多様性を受け入れ協働する力)の育成を念頭に子どもたちの指導を行っています。現在は、授業の指導案(教員が授業を行うために作成する授業計画書)に「3つのG」を位置付ける取組みを進めています。中学校では、令和3年度から新学習指導要領が全面実施され、子どもたちが主体的に学び、友達と考え方を交流するなど対話的に学び、それが深い学びにつながるような授業を構成していくことが求められています。本校では、この「主体的・対話的で深い学び」を今年度の校内研修(教職員全員で行う教育活動向上のための学校独自の研修会)のテーマとして掲げ、実践研究を進めています。すでに1学期には、市教育委員会の指導主事を学校に招いて行う授業研究会を「道徳・特別活動・総合的な学習の時間」で行い、2学期には、「3つのG」を位置付けた「主体的・対話的で深い学び」の授業をどのように具現化したらよいかについて、教科ごとに指導主事を招き協議を進めます。また、夏季休業中には、上木崎小学校・針ヶ谷小学校全教職員と大原中学校全教職員が一堂に会し、大原中学校を会場にして「小中一貫合同研修会」を開催いたしました。小学校の教職員も教科等の分科会に分かれ、小中のギャップなくスムーズな教科指導を進めるにはどのような工夫が必要なのか話し合い、全体会で共有したところです。

さて、本校では「6つの行動目標」を昨年度から全校で掲げ、定着の度合いに一定の成果を上げています。

- ① あいさつと返事がさわやかにできる生徒 (あいさつ・返事は、未来を拓くカギである)
- ② 靴のかかとをしっかりとそろえられる生徒 (かかとがそろうと心がそろう)
- ③ 校歌を大切に心を込めてしっかりと歌える生徒 (校歌は、自分と仲間をつつむ心の入れ物である)
- ④ 掃除をきれいにいき身回りを美しく保てる生徒 (清掃は、心を磨く授業である)
- ⑤ けじめがあり時と場に応じた態度が取れる生徒 (けじめは、自由と責任の接着剤である)
- ⑥ 時間の大切さを知り時間を守れる生徒 (時間は、平等に与えられた宝である)

この「6つの行動目標とGrit(やり抜く力)」との強い関係性は、昨年度の学校だより等で示した通りであり、「6つの行動目標」は、世界の成功者すべてがもっている「Grit(やり抜く力)」をつけることにつながります。

現在の子どもたちが大人になったとき、あらゆる場面において人工知能が活用され、多国籍の方々とともに仕事を創り上げていくことになるでしょう。日常生活でも仕事でも、AIが数多くのBIGデータを分析・整理し、その場における最適解を示す社会で、私たちは「示された最適解をどう扱うのか?」「示された最適解に何を加味して実行するのか?」「そもそもそこに示された最適解は自分にとって本当に最適解なのか?」これらのことを自ら考え主体的に判断する力、他者に説明するプレゼンテーション能力、協働で仕事を行うコミュニケーション能力、そして粘り強く挑戦しやり抜く力等は、未来を生きる子どもたちにとって最も重要な力であり、本校ではこのような力を「3つのG」に集約して捉え、授業をはじめすべての教育活動の中で工夫し指導してまいります。

今年度後期(10月)からは、校歌に謳われる「歴史を拓く」(生徒会本部の皆さんが提案してくれました)を校訓として定める予定です。学校教育目標「はつらつとした生徒、地域に輝く学校」の具現化に努めてまいります。

「6つの行動目標」は、人生を成功に導く習慣であり土台です。2学期が始まるにあたって、保護者の皆様、地域の皆様には、上記のような学校の考え方にご賛同をお願いするとともにご意見を賜りながら、是非同じ方向性をもって大原中学校の子どもたちの未来へアプローチしていただければ幸いです。